

全建発第16～030号

平成16年5月10日

<機関管理者> 殿

社団法人 全日本建設技術協会
会 長 鈴木 道雄



第487回建設技術講習会(これからの公共事業のあり方)開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省、農林水産省、地方公共団体、公団・公社等に勤務する建設関係職員9万余名をもって構成され、公共事業の担い手である建設技術者の「技術水準の向上」等を図り、建設事業の合理化とその進歩発展をめざす公益法人であります。

さて、今日、私たちを取り巻く社会環境が大きく変貌する中で、公共事業の効果や効率性、事業の進め方、整備水準や質的向上、技術開発、社会資本ストックの活用など、多くの重要な課題をかかえております。これらに対処するためには、職員の一層の技術力や調整能力の向上が求められております。

このたびの第487回建設技術講習会では、公共事業に対する様々な議論を踏まえ、これからの公共事業をどのように構築するのか？現場担当者の意識改革を支援するための「事業評価」のあり方（成果重視の施策展開）をはじめ、説明責任の向上方策、住民との協働、広報への取り組みなど、これからの公共事業に向けた新しい施策展開並びに最新の建設技術の動向について、国土交通省の幹部から直接情報を得ることを目的としております。本講習は公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。

敬 具



全建発第15～271号
平成15年12月19日

社団法人 全日本建設技術協会

研修委員長 北 橋 建 治

(国土交通省大臣官房技術調査課長)



平成16年度の講習会参加について（お願い）

本会の建設技術講習会及び実地研修会については、お蔭をもちまして毎回多数の参加をいただいております、厚く御礼を申し上げます。

さて、今日、私たちを取り巻く社会環境が大きく変貌する中で、公共事業の効果や効率性、事業の進め方、整備水準や質的向上、技術開発、社会資本ストックの活用など、多くの重要な課題をかかえております。

これらに対処するためには、職員の一層の技術力や調整能力の向上が求められます。例えば、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」においても、国、特殊法人等及び地方公共団体は、「職員に対し、公共工事の入札及び契約が適正に行われるよう、関係法令及び施工技術に関する知識を習得させるための教育及び研修その他必要な措置を講ずるよう努めなければならない」とされており、「職員研修」の果たすべき役割は従来にも増して一層重要になっていると考えております。

本会では、このような認識にたち、平成16年度の建設技術講習会・実地研修会及び海外研修計画について、別紙のとおり決定し、実施することとなりました。

以上の趣旨を御理解のうえ、職員研修の場として活用されますよう特段の御配慮をお願い申し上げます。

また、本会講習会に参加できない職員の方々に対して、例えば、参加の職員から講習内容を伝達するような場を設けるなど、多くの職員の技術力等向上のための取り組みについて御配慮いただければ幸いです。

なお、本会講習会の参加にご理解をいただくため、貴機関管理者あて会長名の文書を同封しましたので、貴職からご説明をいただきますよう宜しくお願い申し上げます。



建設技術協会
大道雄

社団法人 全日本建設技術協会
会 長 鈴木 道 雄

第 487 回建設技術講習会（これからの公共事業のあり方）開催について

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚くお礼申し上げます。

本協会では、平成 16 年 7 月 7 日（水）～ 7 月 9 日（金）栃木県（宇都宮市）において標記講習会を開催いたします。

この講習会では、公共事業に対する様々な議論を踏まえ、これからの公共事業をどのように構築するのか？現場担当者の意識改革を支援するための「事業評価」のあり方（成果重視の施策展開）をはじめ、説明責任の向上方策、住民との協働、広報への取り組みなど、これからの公共事業に向けた新しい施策展開並びに最新の建設技術の動向について、国土交通省の幹部から直接情報を得ることを目的としています。

なお、本講習会は、国土交通省の後援のもと実施しています。

会場及び日程：別紙日程表のとおり

聴講料：正会員・特別会員・賛助会員..... 7,600円〔うち昼食代1,600円(2日分)〕
非会員..... 12,600円〔 " " 〕

(聴講のみ参加も可能です)

現 場 研 修 料：..... 6,300 円〔うち昼食代 1,200 円〕
（現場研修のみの参加はできません）

申 込 方 法：申込書に必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の（写）〕を添えて、期限までに下記全建事務局までお申し込み下さい。

当日の講習会場での追加申し込みは受け付けできません。

申込書送付先：〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 ランディック藤井ビル7F
(社)全日本建設技術協会 事業課 TEL 03(3585)4546 FAX 03(3586)6640

振込銀行口座：東京三菱銀行赤坂見附支店 普通預金口座 No.0311142
口座名義：社団法人 全日本建設技術協会
お振込の際必ず、振込名義の初めに、開催回数の「487」をつけ加えて下さい。

申 込 締 切 日：平成 16 年 6 月 11 日（金）必着（お申込みが締切日以降に到着したものは受理できない場合があります。）

取り消し・返金について

申込の取り消しについては、下記のように処理いたします。なお、返金は講習会終了後に、所属協会指定口座へ振り込みます。

【返金方法】

	平成 16 年 6 月 25 日 (金) までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
	平成 16 年 7 月 2 日 (金) までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
上記	を過ぎてからの取り消し	返金できません

テキスト及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しします。
事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りします。

講習会情報については、全建ホームページもご覧下さい <http://www.zenken.com/>

第 487 回建設技術講習会（これからの公共事業のあり方）日程

ー公共事業に対する様々な議論を踏まえ、これからの公共事業をどのように構築するのか？ 現場担当者の意識改革を支援するための「事業評価」のあり方（成果重視の施策展開）をはじめ、説明責任の向上策、住民との協働、広報への取り組みなど、これからの公共事業に向けた新しい施策展開並びに最新の建設技術の動向について、国土交通省の幹部から直接情報を得るー

聴 講.....平成 16 年 7 月 7 日（水） 7 月 8 日（木）
 会 場.....栃木県総合文化センター サブホール
 〒320-8530 宇都宮市本町 1 - 8 028-643-1000
 現場研修.....平成 16 年 7 月 9 日（金）

1 日目 平成 16 年 7 月 7 日（水）			
10：00 ～	あいさつ	栃木県知事	福 田 昭 夫
10：20	"	宇都宮市長	福 田 富 一
10：30 ～	21 世紀の社会資本整備の課題と方向	国土交通省大臣官房技術調査課 課 長	北 橋 建 治
12：00			
13：00 ～	これからの地域づくりの方向 ～心豊かにどう生きるか～	国土交通省総合政策局 事業総括調整官	大 平 一 典
14：00			
14：10 ～	今後の都市整備のあり方について	国土交通省都市・地域整備局街路課 課 長	斉 藤 親
15：10			
15：20 ～	官庁営繕行政について	国土交通省大臣官房官庁営繕部 営繕計画課 課長	藤 田 伊 織
16：20			
16：20 ～	【地域事業の紹介】 栃木県県庁舎整備事業	栃木県総務部県庁舎整備室 主 幹	廣 澤 壽 雄
16：40 ～	日光市ウォーキングトレイル事業	日光市都市整備課 課長補佐	福 田 栄 仁
17：00			
2 日目 7 月 8 日（木）			
9：50 ～	住宅・建築行政の課題と今後の展望	国土交通省住宅局建築指導課 課 長	小 川 富 由
10：50			
11：00 ～	今後の港湾行政について	国土交通省港湾局開発課 課 長	棚 橋 通 雄
12：00			
13：00 ～	道路行政における最近の話題	国土交通省道路局国道・防災課 課 長	中 島 威 夫
14：00			
14：10 ～	河川行政の政策課題と今後の展望	国土交通省河川局河川計画課 課 長	布 村 明 彦
15：10			
15：10 ～	閉会のあいさつ	栃木県建設技術協会長	中 山 康 之
	地域の独自調査 栃木県庁舎の改修事業について		
【現場研修】 3 日目 7 月 9 日（金）			

J R 宇都宮駅東口(9:00 出発) → 一般国道 119 号宇都宮北道路整備事業(車窓) → 一般県道大桑大沢線道路事
 (日光杉並木街道)

平成 12 年度「全建賞」受賞事業

業(車窓) → 日光だいや川公園整備事業(下車見学) → 日光田母沢御用邸記念公園整備事業(下車見学) →

平成 14 年度「21 世紀の人と建設技術賞」受賞事業

昼食(日光市内) → 日光市ウォーキングトレイル事業(下車見学) → J R 宇都宮駅(15:40)着後解散

上記行程は班分けにより視察順序が変わる場合があります。また道路混雑のため解散時刻が超過することがありますのでご了承ください。
 講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

第487回建設技術講習会の主な現場研修立ち寄り先

1) 日光だいや川公園整備事業..... 栃木県今市市瀬川

本公園は「日光の自然と悠久の歴史・文化へのいざない」を基本テーマに、日光地方生活圏における広域レクリエーション活動の拠点として位置づけられた広域公園である。

豊かな自然を生かし、水と緑があふれ、ゆったりとくつろぐことのできる空間を提供できるよう計画し整備を行っている。「オートキャンプ場」現在トレーラーハウスを備えた本格的なオートキャンプ場をはじめ、この地域に生息する生物の姿や生態をイメージしたフィールドアスレチックや広大な芝生広場などが利用できる。「ニュースポーツ広場」は15年4月にオープンし、パークゴルフ場・グラウンド場・ディスクゴルフ場を整備し、子供からお年寄りまで幅広い年齢層の方が気軽にスポーツを楽しむことができる。また「緑の相談所」では県西地域の都市緑化の拠点として、相談員が花や緑に関する相談を受け展示会や講習会を開催している。

2) 日光田母沢御用邸記念公園整備事業..... 栃木県日光市本町

本公園は世界遺産に登録された「日光の社寺」に近接し、北には男体山、女峰山等の日光連山を仰ぎ、南は大谷川の清流を隔てて鳴蟲山を借景とし、西は寂光滝を源とする田母沢川を境とした閑静で風光明媚な場所にある。本公園にある旧日光田母沢御用邸は、明治32年に大正天皇（当時：皇太子）のご静養のため造営されたものである。旧御用邸のうち本邸が現存する唯一のもので、江戸・明治・大正期における建築技術や材料の粋を集めて造られた国内最大級の本造建築物である。平成15年12月には、貴重な建造物として国の重要文化財に指定された。【御座所】天皇陛下の執務室（元紀州藩江戸中屋敷）【謁見所】天皇陛下の公式の面会部屋 【御学問所】天皇陛下の書斎（元紀州藩江戸中屋敷）【皇后御座所】皇后陛下の執務室などのほか「研修室」「研修ホール」を併設している。

（平成12年度「全建賞」受賞事業）

3) 日光ウォーキングトレイル整備事業 栃木県日光市久次良町地先～安川町地先

日光市では、平成元年から「地域住民によるまちづくり」を実践するため市内を5地区（湯元、中宮祠、清滝、西町、東町）に大別し、地域の持つ歴史・文化・生活環境等の特性を反映させた活性化策の検討を開始した。このような状況のなか、地域住民を中心に「西町活性化推進委員会」が平成5年に発足され、およそ2ヵ年にわたり活発な議論が行われた。同委員会は、地域の将来を託す活性化策として、「歩いて楽しむ環境づくり」を市に提案、さらに、地域内の歴史的・文化的資産の保存と再生、散策ルートのネットワーク化、ポケットパークの設置などの具体案を提示した。これに基づき「歩いて楽しむ環境づくり」として、歩行者のための道路整備を行うとともに、他機関と協力し、地域内の歴史的・文化的資産の保存と再生、散策ルートのネットワーク化、ポケットパークの設置などを行っている。事業完了後も意見交換の場としての協議会を設置し、さらなる改良やソフト面での活動、緑化・清掃等の住民の協力等について協議を行い、フォローを行っている。訪れた人々が、自然景観や地域の歴史・文化・生活に触れることのできる、快適で安全な歩く人のための道づくりがなされている。（平成14年度「21世紀の人と建設技術賞」受賞事業）

第 487 回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

宿 泊 料 金：宿泊希望者には宇都宮市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。

宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局宛にお申し込み下さい。

宿 泊 予 約 金：宿泊予約金（1人1泊4,000円）は申込と同時に下記旅行会社に直接送金下さい。

送 金 先：西鉄旅行（株）東京営業本部 Tel 03(3272)2411 Fax 03(3272)3169

銀行口座 東京三菱銀行八重洲通支店 普通預金口座№1015114

〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-5-14（都民興業日本橋ビル 6F）

お振込の際は、振込名義の初めに開催回数の「487」をつけ加えて下さい。

取り消し・返金について

申込後の宿泊予約の取り消し、変更については上記旅行会社の「全建担当デスク」まで直接ご連絡下さい。

	平成 16 年 6 月 25 日（金）までの取り消し	宿泊予約金の全額を返金
	平成 16 年 7 月 2 日（金）までの取り消し	宿泊予約金の半額を返金
上記	を過ぎてからの取り消し	返金は一切ありません

斡旋する宿舍名、宿泊料

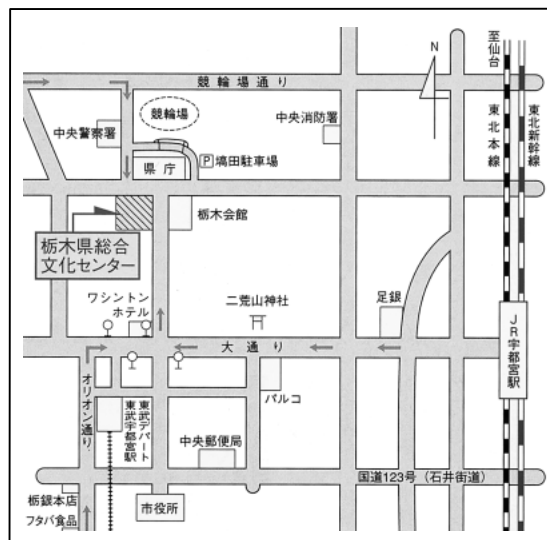
平成 16 年 7 月 6 日（火）・7 日（水）・8 日（木）（1 泊朝食付、サービス料・消費税含む）

宿 舎 名	所在地・電話番号	部屋タイプ	斡旋人数	宿泊代金
宇都宮ワシントンホテル	宇都宮市本町 4 - 1 1 ： 0 2 8 - 6 2 1 - 3 1 1 1	シングル	60 名	¥ 8,600
関東チサンホテル宇都宮	宇都宮市駅前通り 3 - 2 - 3 ： 0 2 8 - 6 3 4 - 4 3 1 1		110 名	¥ 8,400
ホテルサンルート宇都宮	宇都宮市駅前通り 1 - 5 - 2 ： 0 2 8 - 6 2 1 - 3 3 5 5		50 名	¥ 7,900
宿泊斡旋人数合計			220 名	

* 宿舍が決定次第、「宿泊案内」を送付いたします。

* 朝食不要とすることもできます。詳細は「宿泊案内」をご覧ください。

会場・宿舍案内図



交通のご案内

電車をご利用の場合

- J R 宇都宮駅（西口）下車
バスで『県庁前』下車 徒歩約 3 分
又はタクシーで約 5 分（約 1,600m）
- 東部宇都宮駅下車 徒歩で約 10 分（約 700m）
バスをご利用の場合
- 各地から
『県庁前』『池上町』停留所下車 徒歩約 3 分
（関東バス）作新学院、戸祭、江曽島行きなど

社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名
(特別・賛助会員名)

印

第487回建設技術講習会（これからの公共事業のあり方）申込書

参 加 者		勤 務 先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別		昼食不要 (×印)	現 場 研 修	宿泊予約金		
(フリガナ) 氏 名 (参加者が女性の場合は番号に○囲みして下さい)	年 齢		正 会 員	非 会 員			予約日に○印を記入して下さい		
							7 / 6	7 / 7	7 / 8
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
聴講料						↑ 現場研修の 昼食は不要 の申し出は できません	宿泊予約金		
正会員・特別会員・賛助会員		名 × 7,600円 =	円		泊 × 4,000円				
" (昼食不要)		名 × 6,000円 =	円						
非 会 員		名 × 12,600円 =	円						
" (昼食不要)		名 × 11,000円 =	円						
現場研修料		名 × 6,300円 =	円						
計			円		計			円	

↓ 全建に振込

↓ 西鉄旅行に振込

- お申込み後の変更、取り消し、追加に関してはお電話での受付はいたしません。本紙に変更、取り消し、追加箇所がわかるようにご記入いただき、再送と書いてFAXにてお送り下さい。なおこの場合、原本の郵送は不要です。(全建FAX 03-3586-6640)

(昼食について)

昼食時間が限られており、また、会場周辺には十分な昼食施設がありませんので、極力、用意の昼食をご利用下さい。

昼食が不要の場合、×印を記入して下さい。なお、当日会場においては、昼食の申し込みは受け付けできませんので、予めご了承下さい。

現場研修の昼食について:

現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をします。不要の申し出はできません。予めご了承下さい。